

第44期 岡田美術館杯

女流名人戦

女流二段 伊藤沙恵

女流名人 里見香奈

日本将棋連盟会長 佐藤康光九段揮毫

五番勝負

第1局

2018年1月14日(日)9:30~

岡田美術館 開化亭

※関係者以外の入場はお断りします(開化亭は終日休業)

主催 / 報知新聞社 日本将棋連盟
特別協賛 / 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
協力 / 岡田美術館
株式会社プリンスホテル 箱根仙石原プリンスホテル
後援 / 箱根町



開化亭

大盤解説会

岡田美術館 5階ホール

開場 12:30 開会 13:30

※60名限定 / 事前申し込み制



〔立会人〕
中村修九段



〔解説者〕
福崎文吾九段



〔聞き手〕
里見咲紀女流初段



〔聞き手〕
山口絵美菜女流1級

参加者募集!

詳細は裏面に



五番勝負 展望

最強女流名人×最強挑戦者＝女流棋界の現在地。

第44期岡田美術館杯女流名人戦五番勝負が2018年1月14日(日)、神奈川県箱根町「岡田美術館」にて開幕する。

歴代最多の8連覇中の里見香奈女流名人に挑むのは、初挑戦の伊藤沙恵女流二段。百花繚乱の女流名人リーグで開幕から連勝街道を走り、最終一斉対局を待たずに挑戦権を獲得した。

初タイトルを目指す伊藤は今期、女流王位戦、女流王将戦、倉敷藤花戦で里見に挑戦した。年度で4度にわたる直接対決は異例。戦国時代の女流棋界で飛び抜けた実力を誇る2人による最強決定戦となる。

箱根で始まる戦いは出雲、野田を転戦し、勝敗によって聖地・将棋会館へと戻り、真庭にて完結する。女流では珍しい「受け」の棋風である伊藤が、里見の「攻め」をいかに受け止めるかがカギを握るシリーズになる。

昨期の上田初美女流三段と里見による五番勝負はフルセットの大激闘となり、最終局は将棋大賞の名局賞特別賞を受賞。棋士、ファンの間では「名局は女流名人戦五番勝負にあり」という視線が高まっている。最強女流棋士は里見か、伊藤か―。



里見 香奈(さとみ・かな)

1992年3月2日、島根県出雲市生まれ。25歳。森雞二九段門下。父と兄の影響を受けて6歳で将棋を始め、2004年に女流棋士に。08年の倉敷藤花戦で初タイトル。獲得タイトルは女流名人8、女王1、女流王座2、女流王位4、女流王将6、倉敷藤花7の通算28期(歴代2位)。現在、女性初の「棋士」を目指して養成機関「奨励会」三段に在籍中。妹は女流棋士の里見咲紀女流初段。居飛車も指しこなす振り飛車党。趣味は映画観賞。

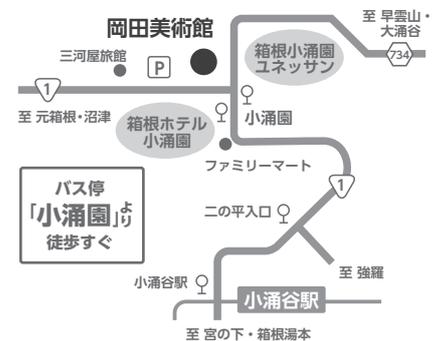
伊藤 沙恵(いとう・さえ)

1993年10月6日、東京都武蔵野市生まれ。24歳。屋敷伸之九段門下。父と兄の影響を受けて5歳で将棋を始める。唯一の女子代表選手として出場した2004年の小学生名人戦では佐々木勇氣(現六段)、菅井竜也(現王位)に次いで3位に入り、話題に。同年、棋士養成機関「奨励会」入会。14年、退会して女流棋士に転向。翌年、女流王座戦でタイトル戦に初登場した。振り飛車も指しこなす居飛車党。趣味はディズニー関連。

大盤解説会 参加者募集



笑顔で対局を振り返った上田初美女流三段(前回の大会解説会の模様)。



大盤解説会 | 2018年1月14日(日) | 岡田美術館 5階ホール

●時間 ●参加費
開場 12:30 一般 1,500円
開会 13:30 高校生以下 1,000円
※60名限定/事前申し込み制/税込

大盤解説会 申し込み 方法

ハガキまたはEメールでご応募ください。
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、
ハガキは〒108-8485 東京都港区港南 4-6-49 報知新聞社事業部まで。
Eメールはevent@hochi.co.jpまで。折り返し料金のお支払い方法などをご連絡します。
申し込みは先着順。定員(60名)になり次第、締め切りとなります。

お問い合わせ

報知新聞社事業部 03-5479-1383 (月～金曜 10:00～18:00)